

NEWS RELEASE

2024 年 6 月 20 日

三菱マヒンドラ農機 2024 年下期新商品を発表

- 3 機種 6 型式を発売 -

三菱マヒンドラ農機株式会社(本社:島根県松江市、CEO 取締役社長:齋藤徹)は、2024 年下期新商品として、下記の 3 機種 6 型式を発表します。

[三菱トラクター GFA11・13・15・18]

10.5 馬力～18 馬力の 4 型式をラインナップ。ロータリーの自動制御も装備し、使い勝手も抜群。誰でもかんたんに、さまざまな用途で活躍するパワフルなコンパクトトラクターです。

[三菱汎用コンバイン MCH1170]

117 馬力の高馬力とワイドな刈幅でさまざまな作物を高効率に刈り取りができることはもちろん、優れた操作性や快適なキャビン、先進の直進アシスト機能も備え、すべての作業をスマート、かんたんに行うことができます。

[三菱乗用田植機 LRA10D]

大規模経営の担い手生産者を支えるため機体重量を軽量化し、走行性能を向上。ハンドル操作なしで枕地ターンまでかんたんに行える先進の操舵アシストや広々とした作業空間を備え、快適な高効率作業を実現します。

各製品の詳細は次ページ以降をご覧ください。

【2024 年下期 発売製品】



三菱トラクター
GFA11・13・15・18



三菱汎用コンバイン
MCH1170



三菱乗用田植機
LRA10D

オーナーの理想を、コンパクトに 三菱トラクター GFA11・13・15・18

小規模圃場で活躍するコンパクトトラクター。あらゆるシーンでパフォーマンスを発揮するトルクフルなエンジン。自動制御システムで誰でも簡単にきれいに仕上がります。豊富なアタッチメントで、さまざまな作業をこの一台で。

1. 販売型式

ホイール仕様 4 型式

GFA11(10.5 馬力)、GFA13(13.5 馬力)、GFA15(15 馬力)、GFA18(18 馬力)

2. 製品の特徴

(1) コンパクト：コンパクトボディだから、さまざまな圃場で活躍

最小旋回半径 1.6m の小回りの利くコンパクトボディ(GFA11)。狭い道でも余裕を持って通行でき、脱輪や接触事故の心配を減らせます。また、GFA13・15・18 は倍速ターン付きで、旋回時にハンドルを切ると、自動的に前輪が後輪の約 2 倍の速度で回転するので、枕地を荒らすことなく極小旋回ができ、隣接耕耘がスムーズにできます。

(2) パワフルエンジン：あらゆる圃場でパフォーマンスを発揮するトルクフルなエンジン

低速から高速まで、パワフルで力強い E-TVCS(新 3 噴流燃焼方式)エンジンを採用。粘り強い作業をサポートします。また、排気がクリーンで、ハウス作業でも排気臭が気になりません。

(3) 自動制御：自動制御だから、だれでも、かんたんに高精度な作業が可能

トラクターが傾いてもロータリーを自動で水平に制御してくれるモンローマチックを装備(GFA11 を除く)。ほ場の凹凸に関わらず、きれいでなめらかに仕上がります。また、任意の角度でロータリーを固定しての作業もできるほか、GFA15・18 では傾斜地の等高線耕耘の際、トラクターの傾きから傾斜地の角度を算出し、ロータリーを傾斜地と平行に保持することも可能。旋回時には傾斜角度に合わせて左右の制御を自動的に切替えるので、切替えの手間もありません。傾斜にかかわらず耕耘、培土、マルチ作業がきれいに行え、作物の生育がそろいやすくなります。

(4) シンプル・かんたん：“シンプル”を追求、誰でもかんたん、らくらく操作

ハンドル手元にコラムシフト(主変速)を配置しており、前を見たまま前後進の変速ができます。また、一般耕耘によく使用する 2 速と後進を一直線にデザインすることで、スムーズに変速操作できるようにしました。ハンドル操作や変速操作を頻繁に行う枕地仕上げの際も素早く、らくに作業ができます。加えて、GFA15・18 にはバックアップ機能も装備。主変速を後進に入れると自動的にロータリーが上昇する機能を備えています。後進時にロータリーを上げ忘れて破損することを防げるため、安心して作業できます。また、四隅で切返し手作業を行う際には、作業機昇降操作を低減できるため、効率的に作業ができます。

(5) 高性能ロータリー：整地性能やメンテナンス性に優れた高性能ロータリー

フラップカバーを採用した新型ロータリーを採用。波打ち現象が発生しにくく、高い整地性能を実現します。また、爪軸保持部を左右のボルトを取り外すだけで爪軸を交換できる分割方式に変更、ギヤケースを分解せずにオイルシールの交換を可能にするなど、各種部分の交換・着脱を簡単にし、整備時間を短縮できるようメンテナンス性を高めました。

(6) ハイコストパフォーマンス：お手ごろ価格で理想を実現。さまざまな作業をこの一台で

コンパクトなボディながら、1270mm のロングホイールベース。傾斜地でも機体が安定し、作業時には力強いけん引力を発揮します。通常耕耘はもちろん、代かき、畦立て、マルチなど、作業機を変えることでさまざまな作業が可能。お手ごろ価格で、お客様の理想を実現します。

3. 発売時期

2024 年 8 月

4. メーカー希望小売価格(税込)

GFA11	1,003,200 円 ～ 1,158,300 円
GFA13J	1,320,000 円 ～ 1,614,800 円
GFA15J	1,543,300 円 ～ 1,863,400 円
GFA18J	1,686,300 円 ～ 2,006,400 円

5. 製品情報 URL

<https://www.mam.co.jp/product/tractor/gfa11/gfa11.php>

三菱トラクター GFA18



■ 主要諸元表

名称			三菱トラクター			
販売型式名			GFA11	GFA13	GFA15	GFA18
駆動方式			4WD			
機体寸法	全長(mm)		2005(安全フレームロックレバー)	2020(後輪タイヤ)	2020(後輪タイヤ)	2045(後輪タイヤ)
	全幅(mm)		880~940(2段階、標準出荷は940)	900~960(2段階、標準出荷は960)	900~960(2段階、標準出荷は970)	910~970(2段階、標準出荷は970)
	全高(mm)		1780	1810		1840
	最低地上高(mm)		250	265		285
機体質量(重量)(kg)			505	550	575	
エンジン	型式名		Z482	D722	D782	D1005
	種類		水冷4サイクル2気筒ディーゼル (E-TVCS)	水冷4サイクル3気筒ディーゼル (E-TVCS)		
	総排気量(L)		0.479	0.719	0.778	1.001
	出力/回転速度(kW{PS}/rpm)		7.7{10.5}/3000	9.9{13.5}/2600	11.0{15.0}/2600	13.2{18.0}/2600
	使用燃料		ディーゼル軽油			
	燃料タンク容量(L)		14			
	バッテリー		50B24L-MF			
走行部	タイヤ	前輪	4.00-12-2PR	5-12-2PR		
		後輪	7-16-4PR	8-16-4PR	8-16-4PR	8-18-4PR
	軸距(mm)		1270			
	輪距(mm)	前輪	710	750		
		後輪	720~770(2段階、標準出荷は770)	720~770(2段階、標準出荷は770)	720~770(2段階、標準出荷は770)	720~770(2段階、標準出荷は770)
	クラッチ形式		乾式単板			
	ブレーキ形式		ディスク式(湿式)			
	かじ取方式		マニュアルステアリング	パワーステアリング		
	補助装置		—	倍速ターン		
	変速方式		選択かみ合い式、常時かみ合い式併用			
	変速段数(段)		前進6、後進2			
	走行速度(km/h) (エンジン定格回転時)	前進	0.6~13.4	0.6~13.7	0.6~13.7	0.6~14.1
		後進	1.2~7.4	1.2~7.7	1.2~7.7	1.3~7.9
PTO	最小旋回半径(ブレーキ使用時)(m)		1.6	1.7	1.7	1.7
	回転速度(rpm)	正転	523、917/3000	551、967/2600	551、967/2600	551、967/2600
		逆転	512/3000	540/2600	540/2600	540/2600
軸寸法			JIS35			
けん引装置			けん引ヒッチ(オプション)			
作業機昇降装置	制御方式	ポジションコントロール				
	装着方式	2点リンク				
安全フレーム			折りたたみ2柱式			
小型特殊型式認定番号			農3221	農3222	農3223	農3224

すべてをスマート、確実、そしてかんたんに 三菱汎用コンバイン MCH1170

ロスのない脱穀・作物に優しい選別、思い通りの操作性を実現。“直進アシスト”機能で作業負担を軽減し、自動でまっすぐな刈取りが可能です。収穫作業をもっと楽しく効率的に。

1. 販売型式

MCH1170(117 馬力)

2. 製品の特徴

(1) 先進の“直進アシスト”：“直進アシスト”機能で作業負担と疲労を軽減（2025 年 夏発売予定）
長時間作業の疲労を軽減できる直進アシスト仕様をラインナップ。基準線を登録するだけで、「基準線に平行な自動直進」と「基準線に対して 90 度の経路での自動直進」が可能です。刈取り作業時にハンドル操作を気にすることなく、刈高さや車速調節に集中できるので、作業が楽になります。直進アシスト仕様は D-GNSS が標準ですが、オプションとしてさらに高精度な RTK-GNSS にアップグレード*することも可能です。

*ご購入後でもアップグレードは可能です。アップグレードを利用するには、別途補正情報サービス契約等が必要です。

(2) 高い脱穀・選別性能：高速作業でもていねいに脱穀、作物にも優しくきれいに選別
2170mmのロングローターとスクリュウ脱穀方式で作物を傷めず効率よく脱穀。また、作物に合わせたローター回転速度に簡単に変更できるよう、機体後方にはローター回転変速レバーを備えています。傷みやすい大豆なども、やさしくバケットコンベアで確実に搬送できます。
また選別作業では、排ワラ量を検出し、チャフシーブ角度とファン風力を最適に自動調節できるハイグレードクリーンセレクションを搭載。面倒な操作なしできめ細かく選別できます。さらに、脱こく状況に合わせて手動での調整も簡単にできるよう、チャフシーブ調整・風量調整をダイヤル式に変更。カバーを開けての可動プーリ調整が不要になり、運転席に座りながら、脱こく部内のチャフシーブと唐箕風量を調整できるので、作業効率が向上します。

(3) 優れた操作性：自動車感覚の丸ハンドルで、思い通りの操作が可能

乗用車感覚の丸ハンドルで思い通りの走行を実現。大回りの旋回からその場旋回まで自在に行えます。また、新しくオールマイティシフトレバーに「ノークラッチ副変速ボタン」を設置。走行しながらでもボタンを押すだけで副変速「標準」から「走行」への変速が可能になりました。ボタンひとつで素早く高速に変速できるので、畝排出位置への移動などがスムーズです。

(4) 効率的な収穫：ワイドな刈幅でどんな圃場でも効率よく収穫

2.1m、2.6m、3.2mの3つの刈幅をラインナップ。刈幅が広いので旋回の回数が少なく済み、走行距離も短縮できます。広い圃場でも高能率作業が可能で、3.2m ヘッドなら稲10条を一気に刈り取ることも可能です。作物別の専用ヘッダーや豊富なオプションもご用意し、多様な作物で高精度、高能率に作業が行えます。

(5) 快適なキャビン：良好な視界、長時間の作業でも疲れにくい快適なキャビン

良好な視界で居心地の良いキャビン空間。アームレスト付きセミサスペンションシートやハンドル位置は最適な作業姿勢に調整が可能です。エアコンの冷却性能低下を防ぐため、コンデンサファンのホコリを取り除く逆転機能も搭載し、暑い日でも快適で疲れにくい作業空間を実現します。さらに、キャビン上部ライトはLEDを採用。周りを明るく照らすことができるので、夕方や早朝の暗い中での作業も安心して行うことができます。

(6) 排出もらくらく・正確に：オーガの位置調整がしやすく、効率よく均一な排出が可能

排出作業はボタンひとつで4パターンの位置にオーガを自動でセットできるオーガオートセットや、ワンタッチでオーガ収納できるオートリターンの機能で効率のよい作業ができます。また、新しくオーガ排出口の向きを調節できるオーガシュータを装備。コンテナに収穫物を均一に充てんすることができるほか、収納位置では排出口を閉じるので、オーガに残っている収穫物がこぼれる心配もありません。

(7) シンプルデザイン：シンプルな操作系レイアウトで直感的に操作できる

刈取り作業の簡単・安心を支える各種自動化機能等のスイッチ・ダイヤル類は、運転席の左パネルに集中配置。また、作業中に必要な操作をオールマイティシフトレバーに集中配置したことで、操作に迷わないシンプルなレイアウトになっています。また、カラーセンターディスプレイで各種情報をひと目で確認でき、直感的な作業が可能です。

3. 発売時期

2024 年 9 月

※直進アシスト仕様は 2025 年夏に発売予定

4. メーカー希望小売価格(税込)

MCH1170 17,721,000 円 ～ 20,119,000 円

5. 製品情報 URL

<https://www.mam.co.jp/product/combine/mch1170/mch1170.php>

三菱汎用コンバイン MCH1170



■ 主要諸元表

名称			三菱汎用コンバイン					
販売型式名			MCH1170					
仕様区分			—	M	W	WM	W3	W3M
機体寸法	全長	(mm)	6240					
	全幅	(mm)	2370		2840		3485	
	全高	(mm)	2760					
機体質量(重量)		(kg)	4950 <4958>	5090 <5098>	5000 <5008>	5150 <5158>	5070 <5078>	5240 <5248>
エンジン	型式名		4TNV94FHT-NRCV					
	種類		水冷4気筒立型ディーゼルインタークーラターボ(CR)					
	総排気量		3.053{3053}					
	出力/回転速度(定格) (kW{PS}/rpm)		85.3{116.0}/ 2500					
	使用燃料		ディーゼル軽油					
	燃料タンク容量		110					
	尿素水タンク容量		14.3					
始動方式			セルスタータ式					
走行部	クローラ	幅×接地圧	550×1960					
		中心距離	1235					
		平均接地圧 (kPa{kgf/cm ² })	22.5{0.23} <22.6{0.23}>	23.2{0.24}	22.7{0.23} <22.8{0.23}>	23.4{0.24} <23.5{0.24}>	23.1{0.24}	23.8{0.24} <23.9{0.24}>
	変速方式		HST無段変速(電子制御FDS)					
	変速段数		前後進無段×副変速3段(油圧2段・ギア2段)					
	走行速度 (エンジン定格回転速度)	前進 (m/sec)	低：0～1.0、標：0～2.0、0～2.81					
後進 (m/sec)		低：0～0.93、標：0～1.89、0～2.62						
刈取部	刈取装置形式		リール+ブラットフォーム					
	デバイダ先端幅		2060		2590		3230	
	刃 幅		1976		2508		3148	
	刈高さ範囲		-100～1000					
	リール	回転径×幅	900×1915		900×2450		900×3090	
		回転速度	5～47(車速同調)					
脱こく部	形 式		スクリューロータ					
	ロータ	個 数	1					
		径×長さ	590(オーガ径)×2170					
		回転速度	大豆：310/コーン：525/稲・麦：710					
	コーンケーブ	面 積	2.1					
		穴 径	φ18 クリンブ網					
	チャフシーブ面積		1.47					
	グレンシーブ面積		0.27					
	総選別面積		1.74					
こく粒処理部	穀粒処理方式		グレンタンク・オーガ排出					
	タンク容量		1900					
	排出高さ/長さ		5100/4300					
排ワラ処理装置			チョッパーズプレッド(直接排稈機能付)					
諸装置	自動化装置		自動刈高さ制御(2モード)・刈取水平制御 バックアップ機構・刈取オートリフト / オートセット・リール車速同調 / リール高さ制御 脱こく選別制御・オーガオートセット / リターン エコディーゼル・自動快速制御・〈F:自動直進機能〉					
	その他		ロータリスクリーン・スイングプレート オーガマルチリモコン・オーガ無線リモコン デュアルモニター・バックモニター・オーガ先端モニター 刈取詰り除去装置(刈取逆転) 排出オーガ掃除口					

機体軽量化と先進機能搭載で走破性・快適性・作業性を向上

三菱乗用田植機 LRA10D

大規模経営の担い手生産者を支えるために進化した 10 条田植機。最新設計により走破性・安定性を高めるとともに、先進操舵アシスト機能で操作負担を軽減。高効率作業をかんたん快適に。

1. 販売型式

LRA10D(24.5 馬力)

2. 製品の特徴

(1) デザイン性：ボンネットデザインを刷新

LED ヘッドランプとシルバーメタリックグリルを採用した新たなボンネットデザイン。先進性を感じさせるフォルムへと生まれ変わりました。

(2) 走行性能：エンジン前方配置による軽量化と優れた湿田性能を発揮するタイヤの採用

エンジンを機体中央から前方配置に変えることで、機体重量を従来から 20kg 軽量化。加えて、前輪に広幅タイヤ、後輪に 12 枚ラグ車輪を採用したことで、泥を持ち上げにくくなり、湿田でも高い走破性を発揮します。オプションの内・外補助車輪を装着すればさらなる湿田対応も可能です。

(3) アシスト機能：直進・旋回アシスト機能で、植付け作業はさらに効率的に

植付け時の直進自動操舵に加えて、隣接条へのバックターン旋回にも対応した自動操舵機能を搭載。バックターン、U ターンのどちらにも対応し、だれでも簡単に操作が可能です。直進・旋回時にハンドル操作の必要がないので、らくに効率的に植付け作業が行えます。

(4) 居住性・快適性：広々ワイドフラットステップで、自在な使い勝手を実現

作業者の動線を意識した広々としたステップで、機体前方からの苗補給、肥料補給がよりスムーズに行えます。また、最適な作業姿勢を選べるシートスライドやハンドルチルト、運転席周りにはドリンクホルダや小物入れなどのアクセサリも充実しており、快適に作業を行えます。

(5) 高効率作業をサポートする多彩な機能

旋回時に内側後輪の駆動を「入・切」することで、タイヤの泥落としをしながら力強く旋回できるミラクル Z ターンや、あぜ際から植え残しなく植え付けができるピタ植え、田植開始前の苗補給時にかんたんに植付部を端寄せできるピタよせなど多彩な機能を搭載。さまざまな条件下で高能率作業を実現します。

3. 発売時期

2024 年 7 月

4. メーカー希望小売価格(税込)

5,937,800 円 ～ 6,807,900 円

三菱乗用田植機 LRA10D



■ 主要諸元表

名称				三菱田植機			
販売型式名				LRA10D			
仕様区分				HB4	PHB4	WHB4	WPHB4
機体寸法	全長		(mm)	3700			
	全幅		(mm)	4240			
	全高		(mm)	2300			
	最低地上高		(mm)	465			
重量			(kg)	1160	1240	1180	1260
エンジン	型式名			E3112			
	種類			水冷4サイクル3気筒立型ディーゼル			
	総排気量			(L)	1.123		
	出力/回転速度			(kW{PS}/rpm)	18.0{24.5}/3000		
	使用燃料			ディーゼル軽油			
	燃料タンク容量			(L)	33		
	始動方式			セルモータ式			
走行部	かじ取り方式			アッカーマン式			
	車輪	種類×個数	前輪	広幅ワイドタイヤ			
			後輪	湿田用太リムラグ車輪			
		外径(mm)	前輪	650			
			後輪	950			
	輪距(mm)	前輪	1250		1320		
		後輪	1220		1340		
	軸距			(mm)	1330		
	変速段数			(段)	前進2/後進2		
	植付部	植付部の位置			後部		
植付部の昇降方式			油圧式				
植付部の装着方式			4点リンク				
植付方式			ロータリ				
植付条数			(条)	10			
植付条間			(cm)	30		33	
植付株数			(株/3.3m ²)	80.70.60.50.42.37		75.65.55.45.40.35	
植付深さ			(cm)	2.0～6.0(9段)			
一株本数調節方法			横送り10.0、11.7、14.0mm、縦かき取り8～18mm／株				
植付速度			(m/秒)	0～1.6(疎植植付規制1.4)			
作業能率			(分/10a)	6～			
苗条件	苗の種類			マット苗			
	草丈			(cm)	10～25		
	葉令			(葉)	マット苗2～4		
予備苗搭載枚数			(箱)	14			

※記載されている内容は発表時点のものです。最新の情報とは内容が異なる場合がありますので、ご了承ください。